

## 令和6年市長と語る！ふれあいミーティング

会場：原市場地区行政センター

日時：令和6年5月17日（金）午後7時～

### 《会場での主なご意見等》

#### 【ご意見①】

昨年もお話ししたが、中沢自治会は山間地域にあり、未給水地域である。45件程ある。第4次飯能市山間地域振興計画の中で原市場地域のことだが、地域の特性として弱みのところで未給水地域が記載されていない。原市場地域には未給水地域が中沢地域にもあるので、どうか見捨てることなく、今後、何年、何十年かかるか分からないが、未給水地域の解消をお願いしたい。

#### 【回答】

水道事業は水道料金収入で、独立採算制を原則として成り立っております。未給水地域を解消するには、現在の飯能市の実態を考えると難しいのではないかと思います。

しかし、山間部に住み続けていただいておりますので、令和4年度から未給水地域の方に対し、簡易水道の維持管理費、整備費の補助をさせていただいております。しばらくは、そのような形でご対応していただきたいと思います。

市内にも未給水地域が数か所あり、件数も相当数ございます。未給水地域の解消をしたいところですが、なかなか難しいところでございます。ご理解の程よろしく願います。

#### 【ご意見②】

当自治会内にある私道の飯能市への寄付採納にかかる覚書について、平成7年に当時の市長と当時の自治会長の間で覚書が交わされた。条件が整った道路から順次対応していくとのことであるが、この覚書は現在も有効か。

#### 【回答】

平成7年に取り交わした覚書はまだ生きている訳ですので、条件が整えば採納申請をしていただいて受納ということになるかと思います。

但し、採納条件がありますので、市道としての採納が受け入れられない道路もございます。それを整理していただければ、私道整備要綱、私道寄附採納要綱がありますのでこれに合えば採納は受けられます。

#### 【ご意見③】

中藤下郷の林道の取付道での残土の搬入の問題については、南高麗地区の違法な残土の業者だと確認している。多くのダンプが行き来して危ない状況である。業者は自治会長や警察にも連絡をしていない様子で、業者はいい土を入れて景観を良くすると言うが、木も傷ついている状況である。

**【回答】**

話は承知しております。ある一定基準になりますと飯能市の方でも、環境保全条例がありまして、その中で手続が必要となってきます。今のところ、現地を確認したところ、基準を超えていないということです。今後、注視してまいります、良質な残土でなく、何かそうでないものが入っていることが分かれば、市の方でしっかり対応をしてまいります。

**【ご意見④】**

原市場に原市場神社という、この地域から出た戦没者を慰霊する神社の形をした慰霊施設がある。この神社は昭和23年にでき、それが今まで続いている。原市場村の時代には、維持、管理に関して村の財政的な支援が多少あったことと思う。

現在、神社の階段が老朽化しコンクリートが凸凹して、これに手を入れるとしたら莫大なお金がかかる。今、途方に暮れている。戦後にこのような神社という形になっていた。このような宗教施設に市が手を差し伸べるということは、問題であると思うが、当時は、戦没者を何とか慰霊したいという村全体の意志がその当時考えた人たちの一番いい形として神社にお祀りして、慰霊するということに落ち着いたことと思う。この神社は慰霊の施設なので、慰霊する気持ちを何とか皆で共有して、その気持ちを市で支援していただきたい。その形に何とかならないかと考えている。是非、ご検討いただきたい。

**【回答】**

非常に難しいご意見、ご質問でございます。

行政がどこまでできるのかその辺を時間をいただいて、研究をしてみないと何とも申し上げられませんでよろしく申し上げます。

**【ご意見⑤】**

約700坪の土地を所有している。名栗川に面していて良い場所。少し整備すればスムーズに川に降りられる。そこに地域の人が遊べる、川パーク公園を整備していただければと思っている。

土地はお貸しするので、緑と清流の里原市場にふさわしい川パーク公園をつくっていただきたい。

先ほど、道の駅の話があったが、私の土地はそちらも含めると1,000坪くらいあるので、地域の為に活用していただければと思う。

**【回答】**

どのようなことができるのか、まずは現地を見させていただき、公園という形なのか、当然、河川に面しているということですので、河川管理者との話もありますので、現地を確認させていただきたいと思えます。

**【ご意見⑥】**

防災関係で避難しなければならない時に、地域の自治会に入っていない方に向けて声を掛けていこうという約束はできている。

実際に災害が起こった時に、行政は自治会に入っていない方と入っている方で対応の差が生じるという考えはあるのか。

**【回答】**

自治会に加入されている方と自治会に未加入の方との色分け、線を引くということは行政としてはできません。そこに住んでいらっしゃる方々が危険な場合は、自治会云々より避難することが最優先でありますので、そのような対応をさせていただきます。

**【ご意見⑦】**

補聴器は年金暮らしのお年寄りには手が出ない。近くの越生町では65歳以上の方に4万円の助成が6月から始まる。飯能市でも補聴器の購入時の助成について検討していただけないか。

今年の3月末に福祉センターの入浴施設が廃止されると聞いた。私も今から5年前、2度ほど原市場福祉センターのお風呂を利用したことがある。その時に入浴していた方と「いい風呂だね」「ゆっくりできるね」と話したことを覚えている。

入浴施設の改修費用は250万円と言われている。また、ボイラー、配管、風呂の更新料が2,000万円かかるとしても、市民の楽しみを復活していただきたい。利用料を一人100円でもいい。入浴施設の廃止を検討し直してほしい。

**【回答】**

補聴器の購入に対する助成につきましては、日常の社会生活に支障をきたすということだと思いますので、どのようなことができるのか 市としてご協力ができるのか、時間をいただいて検討をさせていただきます。

お風呂の廃止の関係ですが、確かに今お話にありました設備の更新で2,000万円以上の費用がかかるということもございますし、その他に多くの修繕が必要で利用いただくのは難しい状況です。そもそも、入浴、稼働率がコロナの前から低い数字であり、あまり使われていない状況です。

お風呂につきましては、確かにコミュニケーションを図るのに有効ではないかということですが、コミュニケーションを図る施策として他の取り組みでも十分図れるのではないかということで、地区社協とも協議をいたします。これから生活をする上でお風呂に代わるような楽しみのある場所をつくっていければと思っておりますので、ご理解の程よろしく願いいたします。

**【ご意見⑧】**

原市場に住んでいる子どもは、市外の高校に通うこととなるとバスと電車を使うことになる。

房ヶ谷戸周辺に住んでいる方のほとんどは、エコス前のバス停を使うことになり、周辺の方はバス停に行くために房ヶ谷戸とエコスをつなぐ流橋を渡っていく。

流橋は大雨により、川が増水すると橋ごと流されてしまうことが何度もあった。流れると半年は使えず、遠回りをする必要があるために困っている。橋が流されるたびに自治会の方々が直してくれるが、それは続かないと思う。そのため丈夫な橋を整備してほしい。

**【回答】**

この橋につきましては、実態は分かりませんが、当時は、恐らく、右岸左岸に歩行者が行き来するためだけに架けられた橋であると思います。

今となってはご近所の方が便利に使われているということで、大雨の度に流されてしまい、不自由をきたすということですが、これを永久橋にすることは、残念ながら今は考えておりません。河川管理として橋梁と橋梁との間の距離にも基準があり、高さといっても、流されない程度の高さという訳にはいかず、恐らく架けるのであれば県道と対岸の市道を結ぶような高さになると思います。ですから、その橋を架けるには相当な、膨大な経費がかかってくると思います。今、その場所に橋を架けるということは、市の方では計画を持っておりませんが、河川管理者の埼玉県の考えもあるかと思いますが、市としては難しいのではないかと考えます。

**【ご意見⑨】**

移動支援の問題が出ている。市で補助金を出していただいているが、国土交通省の取り決めとして、路線バスがある場所では依頼者の家から停留所まで移動支援をしていいということになっている。依頼者の方にはたった300メートルで利用したい方もいる。大体、地区行政センター、小学校、中学校、郵便局には停留所があるので最寄りではなく、停留所であれば移動してもいいのか。また、ライドシェアについてはどう考えているか。

**【回答】**

担当に内容を確認しまして、後日お答えさせていただきます。

**【ご意見⑩】**

新聞を福祉センターに置いてほしい。以前はあったが、しばらく新聞を見ていない。バスの本数も減り、待ち時間も増えたこと、高齢者にとって新聞が馴染みであることがある。お風呂がなくなって福祉センターに来なくなった人もいる。新聞があるとそれを目当てに来る方もいると思う。

**【回答】**

皆さんが楽しみにしているのであれば、お風呂に替わるものであれば、前向きに検討させていただきます。

**【ご意見⑪】**

ひきこもりや不登校の支援について。不登校の子どもを持つ親への支援は、子どもへの支援より少なく感じる。入間市では保護者に対する講演会が好評だったと聞いた。飯能市では不登校の子どもを持つ親に対する取組はあるのか。

**【回答】**

飯能市でも、昨年度から教育センターを中心に不登校を持つ親の会を始めました。昨年度2回開催し、教育センターに所属するスーパーバイザーの先生の講演、講義と不登校を持つ親御さんたちのグループワークで現状を話し合っ、お互いの意思疎通をするということで、本当に良かったというご意見を沢山いただきました。

今年度も、できたら3回、少なくとも2回は、開催したいと思います。参加していただく方も1回目は10名程度でしたが、2回目は20名近く参加されましたので、更に拡充して、保護者の方に共通理解を、また、ご自分のお子さんに対する対応の仕方などを学んでいただければと思います。

**【ご意見⑫】**

移動手段の件で、唐竹担当の民生委員の方に電話があり、今までは、タクシー会社に電話すると迎車してくれた。最近は電話しても電話にも出ないし、電話に出なくても、お迎えに行けないという返事である。出かける時は、つつじヶ丘は山から降りて来て、川を渡って、バスに乗る。高齢者になると、ちょっと歩くにも、山道は大変なので、どのようにしたらタクシーが迎えに来ていただけるのか、そうではなかったのなら、何か違う移動手段があるのか教えていただきたい。

**【回答】**

その辺につきましては、実態を調査しないと何とも申し上げられません。詳細につきましては、後で教えていただければと思います。

**【ご意見⑬】**

最近、防犯体制が希薄な山間部を狙った強盗事件があった。オレオレ詐欺や闇バイトのような犯罪がなくなる中、このような事件を真似して類似の事件が発生することを恐れている。飯能名栗線はよく夜間にパトカーが走っているが、山間部の方にもパトカーを走らせて、抑止になるような体制を要請していただきたい。

**【回答】**

最近では犯罪も複雑化し、海外から指示を出して、国内で昼間から強盗に入るそのような凶悪な事件も多数起きております。こうしたことに対して、警察、地元のパトロールでどこまで防げるか分かりませんがこれをやっていく以外はないと思います。

パトロールは当然重要ですが、もう一つは、自己防衛、よく山間地ですと鍵を開けっ放しのところもあるようでございますので、施錠は必ずやっていただきたいと思います。地域ぐるみで防犯対策に取り組んでいただければと思います。

当然、警察の方にも、私の方から申し出はしておきますのでご理解いただければと思います。